

産業厚生建設委員会会議録（令和7年12月23日）

出席委員 水橋委員長 高川副委員長 安達委員 竹原委員 岩城委員 上田委員  
古沢委員

欠席委員 なし

説明のため出席した者 水野市長 石川健康福祉部長 長崎産業民生部長 北島建設部長 牧田医療保健課長 堀建設課長 荒俣上下水道課長 大村福祉課長 川口市民健康センター所長 横田市民課長 丸山生活環境課長 櫻井商工企画課長 永田水産観光課長 北野農林課長 宮島都市計画課主幹

職務のため出席した事務局職員 石井局長 佐藤係長

午後0時28分開会

**水橋委員長** ただいまから、令和7年12月滑川市議会定例会産業厚生建設委員会に付託された案件を審査するため、本日の委員会を開催いたします。

なお、本日の委員会には、柿沢副市長の欠席届が提出されております。

本日の議事日程は、お手元に配付してあるとおりです。

日程第1、会議録署名委員の指名をいたします。

竹原正人委員、岩城晶巳委員にお願いいたします。

日程第2、付託案件の審査に入ります。

議案第71号から第73号までの3議案を一括して議題といたします。

常任委員会に付託されました議案の説明については、全体委員会のみですることとなっております。

よって、当委員会での説明はしないことといたしますが、当局から追加して説明があればお願いいたします。

（特になし）

**水橋委員長** ないようでしたら、これより議案の質疑に入ります。

質疑のある委員、追加で説明を求めたい委員は、挙手の上、発言願います。

**古沢委員** さっき全体委員会で説明があったんですが、かぶるかもしれませんが、1世帯1万円というやつね。商品券は郵送というふうにお聞きしたと思うのですが、この流れ

というか、さっき時期的に言うと2月中旬ぐらいから発送というふうにお聞きしたと思うんですが、そのスケジュールというか段取りということをもうちよつと詳しく教えていただけないですか。

ある意味、前、どなたかも一般質問でやっておったけど、あそこでどこやらで並んでという、前あったでしょう。あれはやめてねって私も言われておるがやちゃ。

だから、郵送というのはそれはそれでいいと思うがやけど、そのスケジュールみたいなやつをもうちよつと詳しく教えていただけますか。

**櫻井商工企画課長** スケジュールということで、今考えている予定ですけど、本日議決をいただければ、あした会議所に赴いて、会議所と事務的な委託契約を、起案してですけど、その後、契約したいと考えております。

その後、商工会議所と連携を図りながら商品券を印刷業務、校正とか発注業務とかをして、それが出来上がってくるのはやはり年明けであります。

今度、郵便局ともまた契約を結ぶのが、1月に入って結ぶことを考えておりました、郵便局へもデータを送ったりする手続等がございまして、そういった事務も進めることが1月中にやることを考えております。

その商品券が出来上がってくる納品の予定としては2月の前半になりまして、発送期間は、補足説明でも申し上げましたが、2月の中旬から2月いっぱいというか、3月にちょっと入るかもしれませんけど、そういった発送期間を考えております。

使用期限は5月末ということで、今、予定しております。これでどうでしょうか。

**古沢委員** ということは普通の世帯でいうと、ただ届くのを待っていればいいということでもいいですか。

**櫻井商工企画課長** 各世帯にゆうパックという対面式で手渡す方法を郵便局と考えておりました、それでお手元にしっかり渡すことを今計画しておりますので、各世帯としてはお待ちいただければいいと思います。

不在のときも不在票もしっかり入りますので、その不在票を持って連絡するなり郵便局に取りに行くなりしていただければ、しっかりお手元に届くことになると考えております。

**竹原委員** 今のと関連してなんですけど、いわゆる今までのスポーツ・健康の森公園で配布、順番待ちで換金といいますか買いに来られる場合の事務手数料と、今回の郵便局さんを使った各家庭に必ず届くというシステムの事務手数料と、実際違いというか、金額

的な差というのはどのぐらいあるがですか。

**櫻井商工企画課長** ここ一、二年やっておられるスポーツ・健康の森公園でのプレミアム付商品券は、県の交付金を使って、商工会議所が直接県の交付金を申請されたりして商工会議所でやられている事業で、こちらから事務手数料とかは払っていないものですから、今のやっている事業と違うもので、その事務手数料が実際あちらのプレミアム付商品券でどれだけかかっているかというのは、ちょっと比較できないと考えております。

**竹原委員** せっくなので、前回は灯油券だとかという 5,000 円の金券配布もありましたけど、要は市が主導して、こうやって必ず届くシステムの郵便局を使ったやり方が、事務手数料は約これだけで、商工会議所さんがやるプレミアム付商品券は事務手数料がこれぐらいかかります。そしたらお互い話して、やっぱり手の内をお互い見せ合っこして、今後そういった商品券事業をするのであれば、確実なのは当然郵便局で配達してもらえば確実だけでも、事務手数料がもっと安く上がって簡易的にできると言われる今までのプレミアム付商品券発行事業がよしとするならば、今度は販売方法について工夫していかならんねということをも併せて議論していけばいい話なので、今回の事務手数料、せっかく大きなお金を使われるんだから、市民の皆さんに還元は還元としていいんですけど、それだけの経費がどれだけかかったかというのをちゃんと検証して、次からの事業に生かしていただきたいなという思いはあります。多分皆さんもそうだと思いますので、ぜひ今後の取組に期待します。

**水野市長** このハッピースマイル商品券、これは去年もやっているんです。去年は 5,000 円で全部やっているの。それが今回は 1 万円になった。去年も郵便局からやっていますので、そこは全然変わっていない。市が主導で全世帯に配るというのは、去年ぐらいから郵便局を経由してやっていますので。

もう一つのプレミアムをつけたやつって、あれは商工会議所独自でやっておられます。2 割ぐらいのプレミアムをつけて。あれはどうしてもあそこで先着順みたいな。あれも全体の枠の中で、やっぱり皆さんに行き届くぐらいの金額もないですし、先着順みたいなことになってしまいますので、あれと今回のハッピースマイルの商品券は全く別物だと思っていただければと思います。

**竹原委員** 一応前回、商工会議所さんからの要望で、ハッピースマイル商品券については、世帯 1 枚ではなく、世帯で何人もおられる家族もあれば、1 世帯 1 人のところもあると。それについての配慮ということで要望は上がっておったと思うんですけど、今回も前回

の灯油券みたいなもので、一律1万円ということなんですけども、やはり今後またこういった事業を進めていく中で、私、前回、郵便局で働いておられる方が券を持ってこられてサインをしたりとかしたんですけど、やっぱり若者家庭のうちは日中配達に行っても誰もおられんと。二度手間だと。夜来てくれと言われると。そういったケースもいろいろ伺っていたので、確かに不在票を入れて確実に配達するということはできるんですけども、郵便局さんの負担も人手不足の折で、日中行ってもおられない方がたくさんあると。夜は夜である程度いっぱい配達せなならんけども、あり過ぎて人手が足りんということもお聞きしましたので、またそこら辺も配慮していただければと思います。

早く配ってください。待っています。

**古沢委員** ちょっと細かいことで申し訳ない。これもその絡みですが、豊かな農村づくり推進費だとか漁業振興事業費だとかということで、燃油高騰の関係だと思うんですが、例えば豊かな農村づくり推進費だと、ハウスの燃油の高騰は大分影響を受けておられると思うんですが、今念頭にあるのは、施設園芸の事業者とおっしゃると、事業者数とすればどれぐらいを念頭に置いておられるのかなと思って。

**北野農林課長** 念頭に置いておりますのは、市内で6件でございます。

その6件、野菜を作っておられる方、それから花卉類を作っておられる方、合わせまして6件になります。

**古沢委員** ちょっと横へ行ってしまって申し訳ない。漁業振興事業費の場合で言うと、これは漁協へということになるんけ。それとも、どういう単位になるのかな。

**永田水産観光課長** 漁業の場合は、滑川漁業協同組合に属しておられる14の漁業経営体が対象になりますので、いわゆる船単位と、あとは例えば春網定置漁業組合という形の対象になります。

**古沢委員** さっき説明の中では、今年の10月だったけ、11月だったけ、の燃油購入の実績か何かを基に、上昇率を掛けて助成金額みたいな説明があったと私は受け止めたんですけど、燃料の購入実績というのは、単月あるいは2か月ぐらいならすぐ分かるんですかね。

**永田水産観光課長** 一応漁協のほうに購入実績を、例えば船ごとに上げていただいて、それを最終的に合算しまして、単価上昇分を掛けて金額を出すという形を取ります。

**古沢委員** 事業者に手間がかからない方法にしてほしいなということなので、それは大丈夫なんでしょうかね。

**永田水産観光課長** この漁業者に対する支援というのも、これで何年間か継続してやっておりますので、恐らく漁業者の方もそういったものに関してはそれほど手間ではないのかなというふうには思っております。ある程度数値はつかんでおられるとは思いますが、大丈夫ではないかというふうに考えております。

**古沢委員** 施設園芸も大丈夫？

**北野農林課長** 施設園芸のほうにつきましては、どうしてもやっぱり油を使われるのは冬季、冬の間になりますので、こちらについては年間の購入額に対して上昇率を勘案して算出する形を考えております。

当然購入の確認は必要でございますので、買われた領収書とか、そういうものをちょっと見せていただくというような形になろうかなと思いますが、農家さんはやっぱり農業所得の計算である程度まとめておいでですので、なるべく簡単に済むようにしたいなというふうには思っております。

**安達委員** 今その商品券1万円分を発行されるということでお聞きしていますけども、以前にコロナのときにも、あれは個人だったか世帯だったか忘れちゃったけど、現金給付がたしかあったと思うんですが、国のあれで。そのときに多分、個人の口座等々を市役所に集約したのかどうだったか。振込口座か何かしたような気がするんですが、そういったような記録とかが残っている中で、例えば今回、商品券等々ではなくて、現金給付というような考えとかはなかったんですか。それが一番早いと思うんですけど。印刷手数料とか振込手数料を考えたら、現金というのも考えようによっては選択があったのかなと思うがやけど、そこら辺の考えというのはございますかね。

**長崎産業民生部長** 今委員おっしゃられるのは、定額給付というので、多分1人当たり10万円ずつ配られたものでなかったかなというふうに。コロナ禍のときですね。その際には、各それぞれの個人の方への口座の登録はされておるかと思えます。

今回、世帯主さんへの1世帯当たりでの給付ということなので、世帯主さんに振り込むという選択肢もあるかなと思うんですけども、口座のほうの情報は数年前、あれは令和2年ぐらいじゃなかったかなと思うんですけども、数年、ある程度経過しておりますので、そういった口座の確認とかもまた改めて必要になることから、一番確実に世帯に届く商品券のほうを選択させていただいたところでございます。

**安達委員** 言われるとおり、よく分かった上で言っておるがですけど、何年前のことだったので、ちょっと記憶もないのであれなんですけど、少しでも早くとさっきも説明にあ

ったように、なのであれば、商品券でも現金でも、使い道は逆に現金のほうがありがたい方もおいでになるかとは思いますが、前のデータが残っておるという想定の下しゃべっておるんですけど、そっちのほうが逆に一発でぽんといけるのかなと。

当然、書面を出して、市のほうにまた返してもらって、どこの世帯に入れるかという、そういう作業はあると思うんですけど、逆に今、商品券を作られる経費だとか、それから郵便局の発送ということから考えると、逆に現金給付というのもありなのかなということもちょっとあったので、ちょっとお聞きしてみた次第なので、今後それこそ変わっていけば、給付額とか世帯数とかでだんだん変わってくると思うんですけど、少しでも早くという目玉をつくるのであれば、現金でぽんと。ほかはみんなお米券だとか商品券だとかと全国的にも言っていますけど。現金ってあまり聞かないので、そういうのもよかったのかなということで、ちょっと提案といいますか、聞いてみたところであります。

**水野市長** 何回も言いますが、去年も同じようにやっているんですよ。そこからほとんど歩掛かりなし、世帯がどれだけ減ったとか、そのあたりで本当に一番簡単にできますし、そういった5,000円を今回交付金が予想以上に来ましたので、その5,000円を1万円に変えるだけなので、手続的にはそんなに難しい手続ではないですし、郵便局との委託も去年もやっていますし、これが一番スムーズなのかなと。現金給付というのはなかなか難しいと思う。

1世帯当たりにしたんですけども、やはり当然一人暮らしもあれば多世帯というのもありますけども、やはりそこは子どもに対しては1人2万円というのがあるので、やっぱり子育て世帯はそれにプラスして給付してもらおう。その他は一律という形で、今回1万円ということで設定をさせていただいたところであります。

**水橋委員長** ほかに質疑等ございませんか。

(質疑する者なし)

**水橋委員長** では、質疑がないようなので、質疑を終結します。

続いて、付託案件に対する討論に入ります。

討論をご希望される委員の方はお申出願います。

(討論する者なし)

**水橋委員長** 申出がないので、討論を終結いたします。

それでは、これより挙手により採決を行います。

議案第71号から第73号までの3議案を一括して採決を行います。

議案第71号 令和7年度滑川市一般会計補正予算（第4号）

第1表 歳入 所管部分

歳出 所管部分

第2表 繰越明許費補正

議案第72号 令和7年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）

議案第73号 令和7年度滑川市水道事業会計補正予算（第2号）

以上の案件について賛成の委員の挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

**水橋委員長** 賛成全員。よって、付託案件、議案第71号から第73号までの3議案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

午後0時49分議決

**水橋委員長** 以上で付託案件の審査は終わりました。

委員の方に申し上げます。

本来であればその他事項であります。委員からのその他につきましては、次回以降の委員会協議会等にてお願いいたします。

以上で産業厚生建設委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

午後0時49分閉会